

香流苑解体撤去工事説明会及び香流苑跡地の考え方についての意見交換
(議事要旨 第3回)

(敬称略)

日時	令和5年7月22日(土) 午後4時から午後6時まで
場所	下山集会所
参加者	<p>地元参加者 20 人参加</p> <p>市側(説明)</p> <p>くらし文化部長</p> <p>くらし文化部次長(たつせがある、環境担当)</p> <p>環境課長</p> <p>同課課長補佐</p> <p>同課ごみ減量推進係長</p> <p>堀田主事</p> <p>市長公室長</p> <p>市長公室企画政策課室長</p> <p>高橋主事</p> <p>(株)前田産業 名古屋支店(香流苑解体撤去工事業者)</p> <p>(株)環境施設コンサルタント(香流苑解体撤去工事施工監理業者)</p>
内 容	<p>1 香流苑解体撤去工事の説明</p> <p>2 香流苑跡地の考え方についての意見交換</p>

(議事要旨)

1 香流苑解体撤去工事の説明 以下、主な発言等

発言者	発言内容
参加者	解体する施設はし尿処理施設だが、解体時に臭気が発生する可能性はあるか。
回答者	既に完了している仕舞工事で臭気の原因となるものは取り除いているため、解体工事で臭気が発生することはありません。
参加者	現状有姿で売却する方針から建屋を解体する方針に転換した経緯はどのようなか。
回答者	令和3年10月に土壤汚染が発覚したことで、現状有姿で売却することが困難という話になり、尾張旭市と協議の結果、尾張旭市と共同で建屋を解体・汚染土壌を撤去することになりました。
参加者	工事の前に生態系調査するべきではないか。

回答者	生態系調査の予定はありません。樹木は、建屋の解体、土壌の撤去にかかるもののみ、最少限の伐採をします。
参加者	現状有姿のまま売却する方針から建屋を解体する方針に転換したことを広報してほしい。
回答者	議会では説明してきましたが、方針転換したタイミングで広報もすべきでした。申し訳なく思います。
参加者	説明にあった以外にアスベストは検出されなかったのか。
回答者	アスベスト検査を行った結果、説明した箇所の他には検出されませんでした。
参加者	騒音、振動はどの程度か。住宅地が隣接しており、赤ちゃんが寝ている家もある。
回答者	<p>騒音は65デシベルまでを守ります。70デシベルは蟬の鳴く声、60デシベルは洗濯機や掃除機の使用音くらいとされています。</p> <p>振動については、現場では60デシベルを守りますが、振動はその地盤の硬さ等の状況により変わりうるものです。騒音を抑制するために、防音シートの中で作業しますが、万一、迷惑がかかる場合はご連絡ください。</p>
参加者	騒音、振動が出る時間帯は、いつぐらいか。
回答者	大型重機を使用する期間は令和5年11月から令和7年2月までの8時30分から17時と予定しています。
参加者	ヒ素、フッ素は、このようなし尿処理施設で出ることがあるのか。
回答者	基本的にヒ素、フッ素は、このようなし尿処理施設で出ることはありません。汚染原因は明らかにはできませんが、もともと田であった場所を埋め立てて造成した時に、ヒ素等が含まれた可能性があります。
参加者	香流苑の隣の調整池はどうなるのか。
回答者	未定です。
参加者	前面道路では、工事車両が西へ直進するとされているが、どこまで行くことになるのか。
回答者	工事車両は、清水屋のとおりまで直進し、右折または左折します。
参加者	前面道路は、フェンス等で歩道を確保してもらえるか。
回答者	その予定はありません。

	以 上

2 香流苑跡地の考え方についての意見交換 以下、主な発言等

発言者	発言内容
参加者	交通量が増えることで平和堂に抜けるポールが外され、住環境が損なわれることはあるか。
回答者	平和堂に抜けるポールについては、地元の方々との協議で設置しているので、香流苑の跡地利用によって影響することはありません。
参加者	国の都市公園の運用指針によると「市街地における住民一人あたりの都市公園の敷地面積の標準については当該区域が最も都市公園を必要とする区域であることから、用地の取得が困難であるという理由で、都市公園の大部分が郊外に設けられることにならないよう、計画的配置等を勘案して5㎡/人」であり、長久手市のみどりの基本計画でも市街地目標値は5㎡/人と書いてある。長久手西通りよりも西側の人口8,500人で、このエリアの3つの公園を面積割合で計算すると、0.8㎡/人となり、全く足りていない。このエリアの都市計画を市はどのように考えているのか。
回答者	<p>区画整理を含めて市街地の適正配置や誘致距離を考えていくと、都市計画上の基準は満たしています。市全体で考えるとモリコロパークがあるので、10㎡/人です。</p> <p>ただ、市全体でみても北小学校区に人口が一番多く、その中でも長久手西通りから西側に約65%の方がいるので、公園や避難所の公共施設の面積割合を心許なく感じる方がおられることは承知しています。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p>
参加者	紫と赤の矢印の境目の浸水想定エリアのピンク部分、今、隣の家が2階まで盛り土している件が気になる。それによって浸水経路が変わるのではないかと、崩れたら川をせき止める。この資料自体、現状に合っていないのではないかと。
回答者	ご意見ありがとうございます。所管課と共有します。
参加者	防災面で言えば北小学校には距離があるし、マンションの住民が入るにはキャパオーバーである。最近では小幡緑地や鶴舞公園等の中にカフェが入るような、公有地のまま貸し出すという形で使うことで一部でも収益が得られるし、万一のとき避難所として機能すると思う。
回答者	ご意見ありがとうございます。
	以 上